

2 - 11 江刺地球潮汐観測施設における地殻変動の観測

Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

緯度観測所

International Latitude Observatory of Mizusawa

1. 地殻変動の観測結果

前報（第29巻）に引き続き、1983年6月までの傾斜歪の観測結果を報告する。

第1図は観測開始以来1983年6月までの江刺地球潮汐観測施設における歪、傾斜の経年変化および気圧、降水量の変化を示したものである。全体的に歪・傾斜の経年変化は小さい。1983年5月26日の日本海中部地震に伴って、歪のNS成分に約 2×10^{-7} のストレン・ステップが現われており、傾斜においては約 $0''06W$ 下りのステップ状の変化が見られる。同図中、1982年9月～11月に見られる歪のNS成分の乱れは、器械的ドリフトの異常によるものである。

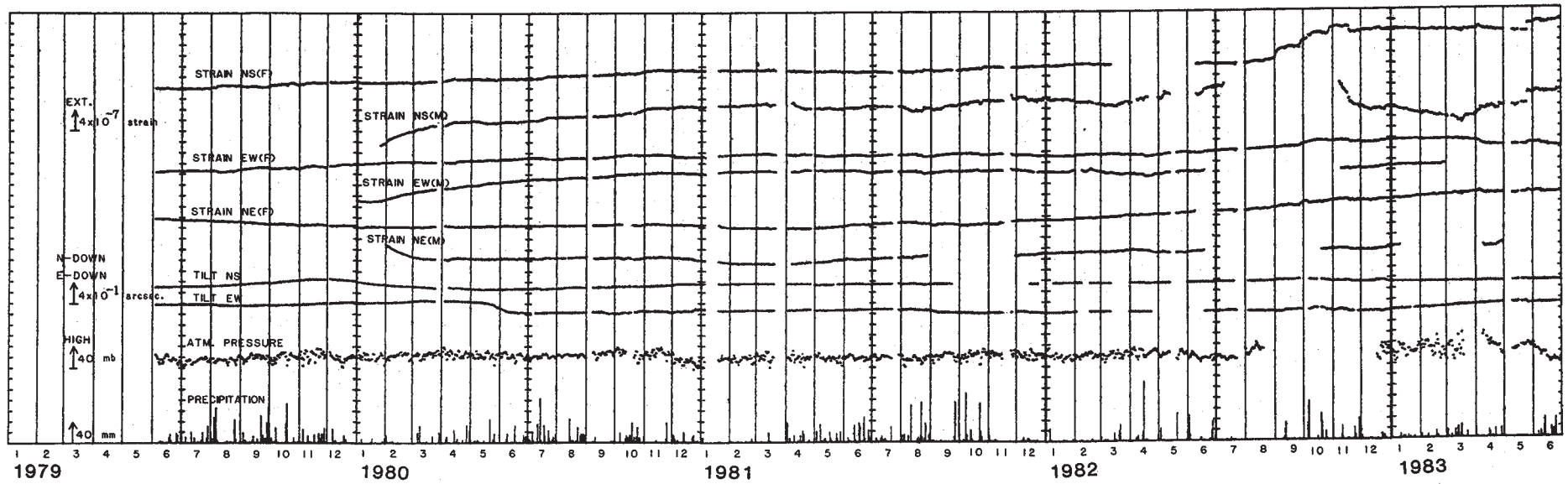
第2図には主歪、最大剪断歪および面積歪を、第3図には地盤傾斜ベクトルを示す。

2. 重力測量

日本海中部地震後に秋田－男鹿－深浦間の重力測量を東北大学、名古屋大学と共同で実施した。この結果は東北大学より報告した。

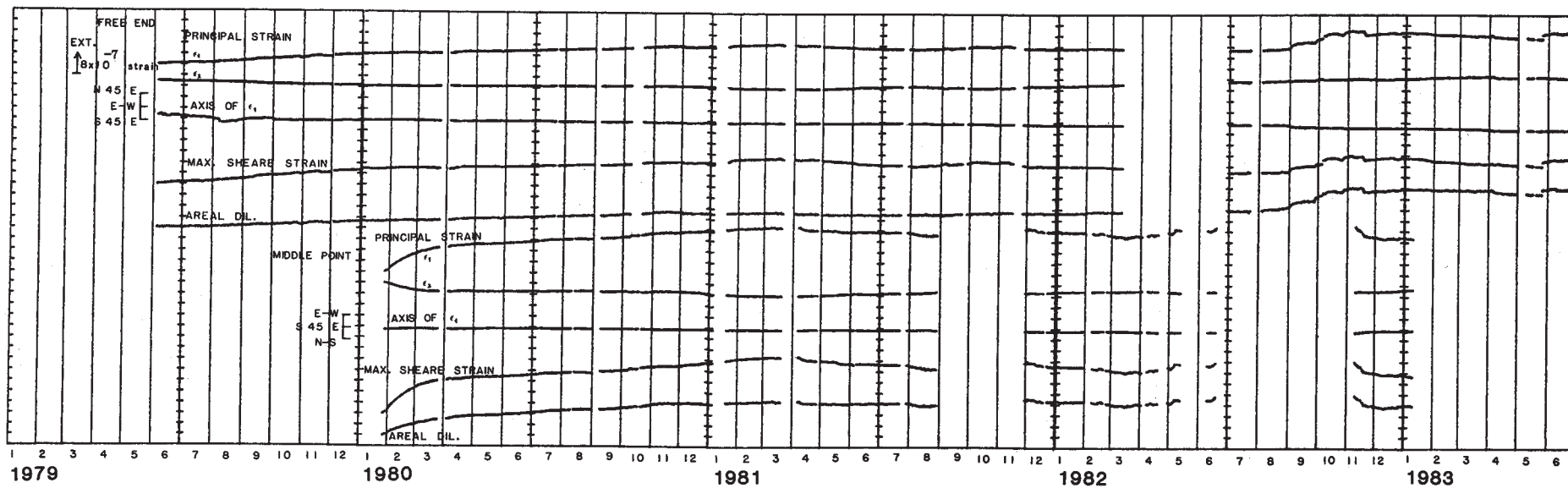
3. 地震に伴う発光現象について

日本海中部地震に関係すると思われる発光現象について2件の報告がなされた。



第1図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪および傾斜の日平均値

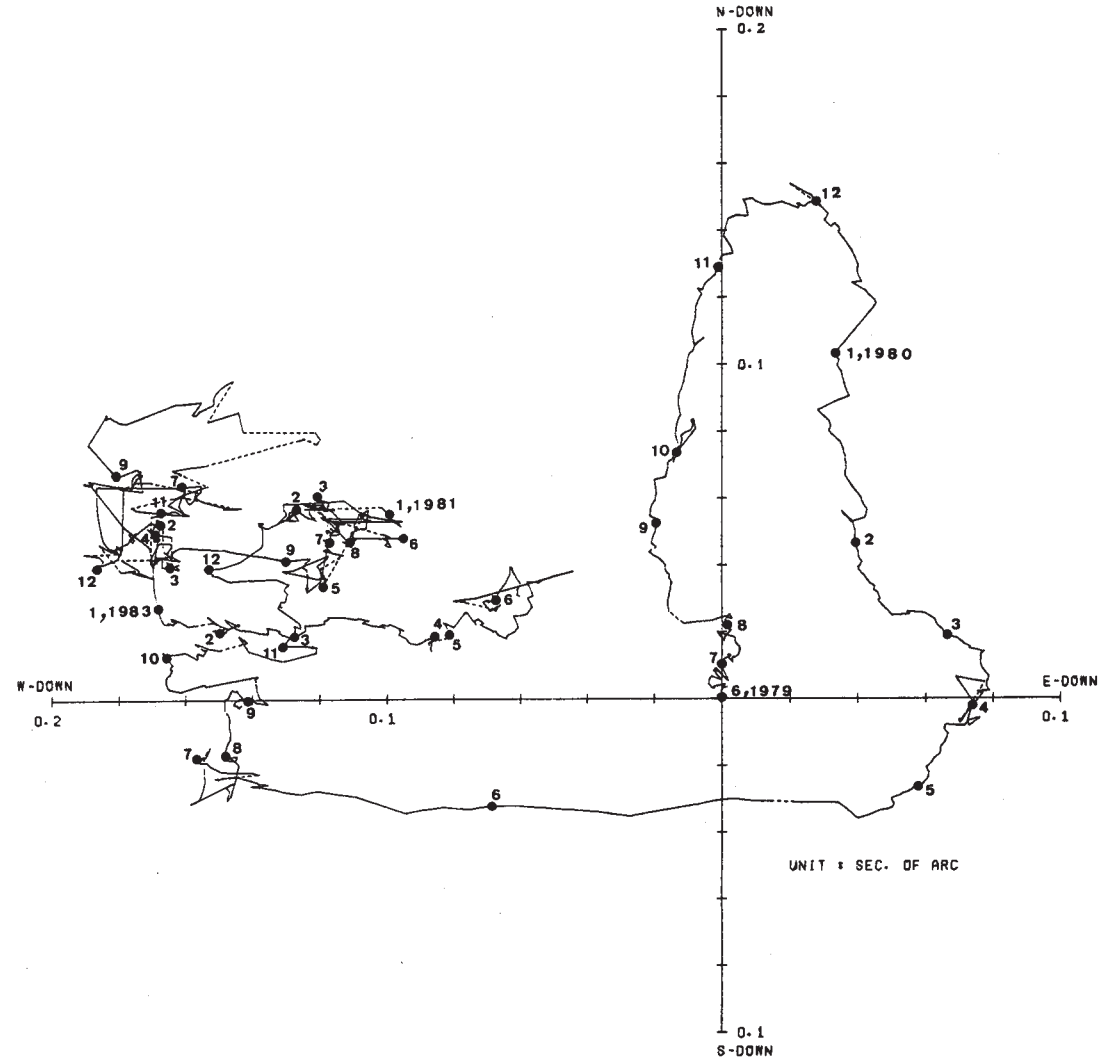
Fig. 1 Daily values of ground strains and tilts at the Esashi Earth Tides Station.



第 2 図 主歪, 最大剪断歪および面積歪

Fig. 2 Derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.

VECTOR DIAGRAM OF SECULAR GROUND TILT AT ESASHI



第3図 地盤傾斜ベクトル図

Fig. 3 Vector diagram of ground tilts.